

【学習課題】ディベートにチャレンジ！話し合い名人になろう

めあて

身近な論題のディベートを計画し、準備しよう

論題1

「小学生は午後9時以降にテレビを見ない方がよい」

論題2

「宿題はなくすべきである」

役割	名前	役割	名前
司会者		司会者	
タイムキーパー		タイムキーパー	
賛成側		賛成側	
反対側		反対側	
しん判役		しん判役	
フロア		フロア	

準備の手順

論題について「賛成」「反対」意見を考える

(ワークシート)

情報や資料を集める

それぞれの立場で話し合い、立論を決定する

「根きよを説明する文章」や「資料」の作成

(立論カード・資料の集め方)

作戦を立てる(作戦カード)

担当を決め練習する

9・10 / 12 時間目 指導略案

ワークシート 立論カード 作戦カード
ディベートの情報収集の仕方

活動のねらい

身近な論題でディベートするために、計画や準備を行うことができる。

1 論題と役割を確認する。

役割分担は、課外の時間を使って前もって行い、ここでは確認のみを行う。

2 準備の手順に従って、グループで準備し、練習する。

テーマについて、「賛成」「反対」どちらの立場からも意見と理由や根拠を考え、一人一人ワークシートに書く。

グループになって意見を交流し、情報や資料を集める。

グループになって意見を交流し、立論をしぼる。

「根拠を説明する立論の文章」や「資料」を作成する。

作戦カードで作戦を立てる。

担当を決め、練習をする。

準備の手順を示し確認させた後、それぞれのグループで準備させる。

情報の集め方についての資料(ディベートの情報収集の仕方)を配付し、簡単に説明する。

グループのリーダーを決め、リーダーを中心に話し合いをさせる。

準備のでき具合を確認して回り、必要に応じて立論の決め方や情報の集め方などについてアドバイスする。

評価 身近な論題でディベートするために、立場を明確にしながら計画や準備を行っている。

3 本時の学習を振り返り、次時の学習について見通しをもつ。

次時は、学習した話し合いの技を使って、身近なテーマのディベートにチャレンジしていくことを確認する。

* 計画・準備の時間として二時間で実施をしているが、学級の実態に応じて時間の調整を行う。